

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	専攻演習					授業形態	演習		
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	竹之山 慎一							ICT活 用	○
授業概要	4年次に進学するまでに講義あるいは実験・実習等によって習得した食品科学全般の知識をもとに、自主的に食品学分野において幅広く調べ、管理栄養士に向けての演習を行う【知識・理解の獲得】。								
関連する科目	食品学Ⅰ・食品学Ⅱ・食品学早Ⅲ・食品学実験・食品学加工学実習、その他管理栄養学科の必須科目全般を事前に履修することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、パワーポイントによるプレゼンテーションを用いた授業を展開します。</p> <p>授業の全般的に下記の授業計画の項目について講義します。その途中に質問項目を投げかけ、グループディスカッション等にて、学びを深められるようにします。</p> <p>また、適宜授業の進行具合において小テスト、レポート課題等を課します。</p> <p>さらには専攻演習の最後に、テーマごとのグループディスカッションを行いパワーポイントによる発表を行います。</p> <p>ICTの活用のために、小テストや課題、授業内容のフィードバックを ユニバーサルパスポートの授業ツール（クラスプロフィール）を活用して行います。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>専攻演習の授業計画は以下ののような概要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の座学「食品学Ⅰ」「食品学Ⅱ」「食品学Ⅲ」の復習</li> <li>・従来の実験実習科目「食品学実験」「食品加工学実習」の復習</li> <li>・食品学での不明な事項・事例の調査</li> <li>・食品に関する文献検索</li> <li>・プレゼンテーション・質疑応答</li> </ul>								
授業計画 【第2回】	第3～4回 文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）								
授業計画 【第3回】	第5～6回 プレゼンテーション資料を作成（パワーポイントによるプレゼンテーション資料を作成します）								
授業計画 【第4回】	第7～8回 セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）								
授業計画 【第5回】	第9～10回 発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）								
授業計画 【第6回】	第11～12回 食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）								
授業計画 【第7回】	第13～14回 文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）								
授業計画 【第8回】	第15～16回 プレゼンテーション資料を作成（パワーポイントによるプレゼンテーション資料を作成します）								
授業計画 【第9回】	第17～18回 セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）								
授業計画 【第10回】	第19～20回 発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）								

授業計画【第11回】	第21～22回 食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）
授業計画【第12回】	第23～24回 文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）
授業計画【第13回】	第25～26回 プレゼンテーション資料を作成（プレゼンテーション資料を作成を行います）
授業計画【第14回】	第27～28回 セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）
授業計画【第15回】	第29～30回 発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）
授業の到達目標	専攻演習で調べた内容により、今まで履修してきた内容と、専攻演習で調べた内容とを総合的に理解を深め、栄養士・管理栄養士として重要な、人間に対する医療を軸とした演習を行い、食品学に関する知識を実践的なものとしていく。
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	【予習】教科書・参考書等を熟読し、講義内容を把握しておくこと（1hr）。
授業時間外学習【復習】	【復習】講義内容や配布資料を確認・復習しておくこと（1hr）。
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲・質疑応答-30点 2) 小テスト・レポート提出-50点 3) プレゼンテーション-20点
テキスト	
参考書	
備考	